

京大図企第 174 号
平成 30 年 12 月 3 日

国立大学図書館協会
加盟館 館長 各位

京都大学図書館機構長
京都大学附属図書館長
引原 隆士 [公印省略]

「オープンサイエンス時代の大学図書館－これから求められる人材とは－」
(平成 30 年度国立大学図書館協会地区助成事業) の開催について (依頼)

拝啓 貴館におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

京都大学図書館機構では、別紙要項のとおり講演会を開催いたします。つきましては、貴学の皆様へご周知いただくとともに、参加についてご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

敬具

平成30年度 国立大学図書館協会近畿地区助成事業
「オープンサイエンス時代の大学図書館－これから求められる人材とは－」
実施概要

平成30年6月15日に閣議決定された「統合イノベーション戦略」では、オープンサイエンスのためのデータ基盤の整備の目標として、研究データの管理・利活用の方針・計画の策定、機関リポジトリを活用した公開、人材の育成等を掲げている。文部科学省や内閣府の審議会等やG7科学大臣会合等の世界動向においても、「オープンサイエンス」は必須のキーワードとなっており、大学図書館を取り巻く学術世界は、今まさにオープンサイエンス時代に入ろうとしている。

この時代状況において、大学図書館には、従来の機関リポジトリに新たな機能を付加し、その機能を十全に実現する研究支援能力をもつ職員を育成することが強く期待されている。こうした期待に応えるものとして、国立大学図書館協会では「ビジョン2020」において、職員の資質向上により、学術情報流通環境の変化の中で国立大学図書館に期待される新たな機能を実現することを目標としている。このため、オープンサイエンス時代を切り開いていく大学図書館の機能と人材像を明確にすることを目指して講演会を開催する。

本講演会では、①オープンサイエンスを巡る政策動向と求められる大学図書館機能への展望、②研究データのオープン化に向けた研究者の取り組みと図書館職員への期待、③大学図書館におけるオープンサイエンスの支援事例に関する講演を柱として、情報共有と意見交換を行うこととしたい。

主 催：国立大学図書館協会近畿地区協会（主担当：京都大学図書館機構）

協 賛：大学図書館近畿イニシアティブ

1. 日 時：平成31年2月13日（水）13：15～17：00（受付開始12：45）

2. 場 所：京都大学附属図書館3階 ライブラリホール

3. 対 象：大学図書館職員および本講演テーマに関心のある方（一般公開）

4. プログラム：

12：45	開場・受付開始
13：15-13：20	開会挨拶：引原 隆士 教授（京都大学図書館機構長）
13：20-14：30	講演1「オープンサイエンス時代の大学図書館員：教育、研究のパートナーになるために」 竹内 比呂也 教授（千葉大学附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長）
14：30-14：40	休憩
14：40-15：40	講演2「アカデミックデータマネジメント環境での図書館員の役割」 梶田 将司 教授（京都大学情報環境機構教授、アカデミックデータ・イノベーションユニット長）
15：40-16：10	講演3「大学図書館によるオープンサイエンス支援：国内事例を作る」 山中 節子 氏（京都大学附属図書館学術支援課長）
16：10-16：20	休憩
16：20-17：00	パネルディスカッション モデレータ：松井 啓之 教授（京都大学図書館機構副機構長）
17：00	閉会

*講演会の終了後、講師の方々をお招きして交流会を開催いたします（参加任意）。

時間：17時30分～19時

場所：カフェレストラン カンフォーラ（京都大学正門横）

5. 受講定員：80名（申込先着順）

6. 受講料：無料

交流会に参加される場合は、3,500円（予定）の参加費をいただきます。

7. 申込方法：申込用Webフォームにご記入のうえ、お申し込みください。

URL <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/kenshu/?p=4300>

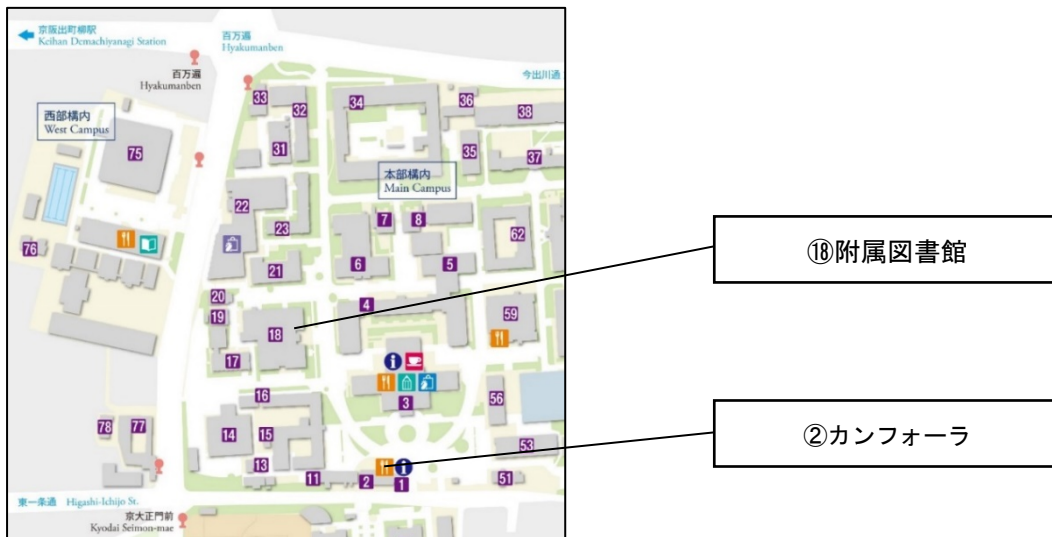
申込締切：平成31年2月5日（火）

8. 企画：京都大学図書館機構（図書館業務改善推進会議 人材育成部会）

9. その他：当日の講演記録について、映像は京都大学OCWにて、資料は京都大学学術情報リポジトリ KURENAI で保存・公開の予定です。

10. 問い合わせ先：京都大学附属図書館図書館企画課

e-mail: kenshu-uke660kulib@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



アクセスマップ http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/

平成三十年度 国立大学図書館協会近畿地区助成事業

オープンサイエンス時代の大学図書館

これから求められる人材とは

2019年

2月13日 水

13:15 - 17:00

受付開始 12:45 -

会場 京都大学附属図書館3階 ライブラリホール

定員 80名（申込先着順）

対象 大学図書館職員および本講演テーマに関心のある方（一般公開）

受講料 無料

事前申込制 締切：2019年2月5日（火）

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/kenshu/?p=4300>



オープンサイエンス時代の大学図書館員
- 教育、研究のパートナーになるために

竹内 比呂也 教授

（千葉大学附属図書館長／アカデミック・リンク・センター長）

アカデミックデータマネジメント環境での
図書館員の役割

梶田 将司 教授

（京都大学情報環境機構教授）
（アカデミックデータ・イノベーションユニット長）

大学図書館によるオープンサイエンス支援
- 国内事例を作る

山中 節子 氏

（京都大学附属図書館学術支援課長）

パネルディスカッション

モデレータ：**松井 啓之** 教授

（京都大学図書館機構副機構長）

主催：国立大学図書館協会近畿地区協会（主担当：京都大学図書館機構）

協賛：大学図書館近畿イニシアティブ

問合せ先：京都大学附属図書館図書館企画課（京都大学図書館機構 図書館業務改善推進会議 人材育成部会）

mail: kenshu-uke660kulib@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

実施概要

平成30年6月15日に閣議決定された「統合イノベーション戦略」では、オープンサイエンスのためのデータ基盤の整備の目標として、研究データの管理・利活用の方針・計画の策定、機関リポジトリを活用した公開、人材の育成等を掲げている。文部科学省や内閣府の審議会等やG7科学大臣会合等の世界動向においても、「オープンサイエンス」は必須のキーワードとなっており、大学図書館を取り巻く学術世界は、今まさにオープンサイエンス時代に入ろうとしている。

この時代状況において、大学図書館には、従来の機関リポジトリに新たな機能を付加し、その機能を十全に実現する研究支援能力をもつ職員を育成することが強く期待されている。こうした期待に応えるものとして、国立大学図書館協会では「ビジョン2020」において、職員の資質向上により、学術情報流通環境の変化の中で国立大学図書館に期待される新たな機能を実現することを目標としている。このため、オープンサイエンス時代を切り開いていく大学図書館の機能と人材像を明確にすることを旨として講演会を開催する。

本講演会では、①オープンサイエンスを巡る政策動向と求められる大学図書館機能への展望、②研究データのオープン化に向けた研究者の取り組みと図書館職員への期待、③大学図書館におけるオープンサイエンスの支援事例に関する講演を柱として、情報共有と意見交換を行うこととしたい。

講師紹介

竹内 比呂也（たけうち ひろや） 教授 | 千葉大学副学長、附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長

学術情報流通にかかる政策的課題やコミュニティのニーズに適した新しい図書館サービスの開発、図書館・博物館・文書館を包括する文化的情報資源の形成と管理などを研究し、オープンサイエンスをめぐる政策動向や教育学習支援についても精通している。

<経歴> 1987年 慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程（図書館・情報学専攻）修了
2004年 愛知淑徳大学大学院文学研究科博士後期課程（図書館情報学専攻）単位取得退学
東京大学附属図書館・ユネスコアジア太平洋地域中央事務所（在バンコク）等に勤務
2008年 千葉大学文学部教授

主な著作に『情報資源の社会制度と経営』（シリーズ図書館情報学3）（共著、東京大学出版会、2013）、『構造的転換期にある図書館：その法制度と政策』（共著、日本図書館研究会、2010）『図書館サービス論』（共著、東京書籍、2009）などがある。

梶田 将司（かじた しょうじ） 教授 | 京都大学情報環境機構教授、アカデミックデータ・イノベーションユニット長

京都大学において、研究の開始から論文化、論文化後のデータの扱ひまで、研究のライフサイクルに沿ってデータ管理を行う研究データマネジメント計画を推進し、研究データのオープン化に向けて尽力している。

<経歴> 1995年 名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程満了
2002年 名古屋大学情報連携基盤センター准教授
2009年 京都大学情報連携統括本部情報戦略室准教授
2011年 京都大学情報環境機構IT企画室教授

1998年日本音響学会第15回栗屋潔学術奨励賞、2001年電子情報通信学会第57回論文賞、2009年IBM Shared University Research (SUR) Award 受賞

山中 節子（やまなか せつこ）氏 | 京都大学附属図書館学術支援課長

国立大学図書館協会オープンアクセス委員会の委員として、国立大学図書館協会ビジョン推進事業の一環で2018年2月に米国の大学図書館を訪問し、オープンアクセスならびに研究データ管理の支援についてインタビュー調査を行った経験を生かし、国内における大学図書館でのオープンサイエンス支援普及に取り組んでいる。

<経歴> 2014年 和歌山大学学術情報課長
2017年 京都大学附属図書館学術支援課長

京都大学経済研究所図書室、京都大学附属図書館、奈良教育大学附属図書館に勤務し、利用サービス業務、外国雑誌業務等を担当。

講演記録

当日の講演記録について、映像は京都大学OCWにて、資料は京都大学学術情報リポジトリKURENAIで保存・公開の予定です。

交流会（参加任意）のご案内

講演会の終了後、講師の方々をお招きして交流会を開催いたします。

時間：17:30 - 19:00

場所：カフェレストラン カンフォーラ
（京都大学正門横）

参加費：3,500円（当日、現金にて申し受けます）

アクセスマップ

